《第97回》令和三年七月の作品

〈七月九日（金）　文京シビックセンター５Ｄ〉

三軒の湯宿の明かり仏法僧　（清助）

更衣白の目立てる交差点　（平六）

緑なす三千院の苔地蔵　（奉男）

徳川慶喜・渋沢栄一

花葵主従向かひて谷中墓所　（芙紗）

兜太句碑秩父の夏の日をあびて　（正佳）

賞与手にすることもなく冷し酒　（一江）

梅雨明けの波透きとほる千曲川　（前歩）

父の日にとどく信濃の山の幸　（孝昭）

コロナ下のオリンピックや夏嵐　（貴美）

藻の花に見え隠れして魚の群　（隆治）

七夕やこの天空に密はなし　（正雄）